

✿平城東中学校区



自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

▶平城東中学校区 地域教育協議会

<p>地域・子どもの現状</p>	<p>地域の住民や各校園の保護者は教育に対する関心は高く、学校園教育に協力的である。また、本協議会の事業や地域行事に積極的に協力・参加いただいている。奈良市の中では、比較的新しい地域であるが、地域としてのまとまりや協力体制は確立している。子どもたちは、概ね生活習慣が確立しているが、地域とのつながりは学年が上がるにつれ薄くなる傾向がある。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>本校区の子どもたちに「地域の歴史・自然・文化・伝統」など、地域のすばらしさを体験・実感させ、今後、地域の一員として、地域に貢献しながら生きていこうとする意欲をもつように、多岐にわたる事業を展開していきたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>年々「平城高校生と遊ぼう」や「歴史ウォーク」の地域の関心度も高くなってきている。しかし、参加数は少し減少気味で、取り組みや広報について再構築する必要がある。また、高校再編にともない奈良高校との新しい取組を考えていく。今年度も幼小中高の連携を深め、子どもたちが自信をもち活動できる取組を企画運営をしていく。</p>



▶平城東中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校の目指す学校像は、「生徒が期待感と充実感を持てる学校」「保護者・地域から信頼される学校」である。様々な行事の取組に対する地域からの評価は高く、満足度も高いものがある。地域関連事業への参加意識は薄いのが、多くの教職員や生徒が積極的に本事業に参加するための手だてを講じてきたため、改善されつつある。保護者は教育については関心が高く、学校に協力的であり、行事等へも多数参観される。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>本校生徒は、授業に真剣に取り組み、行事等には熱心に取り組むことができる。しかし、自己肯定感が若干低く、自尊感情育成の取組が必要である。そのために地域との連携を深め、文化発表会・体育大会等の行事を支援することにより、自己有用感の向上を目指したい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>地域の人材活用を目指し、地域の方を学校に招聘し、講演会を実施する。また、地域の保育園・幼稚園・小学校との交流を深める。そのことを通して、地域のすばらしさや地域で生きていこうという意識を生徒たちにもたせたい。そして、この取組を地域に公開し、地域と学校との繋がりを深めていきたい。</p>



▶朱雀小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校は平城ニュータウンの中央部にあり、川や池や農地がなく、子どもたちが自然の生き物にふれたり、草花などを育てたりするという経験をもつ子が少ないという状況にある。そこで、本事業を活用し、一人一鉢に取り組んだり、観察池やビオトープなどの学校にある自然環境を整備し、講師を招いて学習したりすることを通して、豊かな体験を育めるように取り組んでいる。また、地域の学校支援を受け、図書を読み聞かせ活動を通して図書に興味をもたせたり、問題解決に向け、調べ学習ができるように資料を整理したりし、図書室がより充実したものになるように取り組んでいる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>自ら課題を発見し、なかまと協力して調べたり確かめたりして、課題を解決し、その活動をわかりやすく発信していくことができる力。 地域の方々に自分たちのくらしが支えられているということがわかり、感謝の気持ちを持つと共に、地域を大切にしていこうとする心情と実践力。</p>
<p>取組内容</p>	<p>図書室の環境・校庭等（植栽やビオトープ）の整備を進め、地域人材や地域諸団体と協力・協働しての学びを推進することによって、児童に地域とのつながりを実感させつつ、仲間と協力して問題を解決していく力を身に付けさせていきたい。</p>



▶佐保台小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校は、奈良市の最北部に位置し、全学年単学級の小規模校である。閑静な住宅街の中にあり保護者はとても教育熱心である。また地域の教育に対する関心も高く協力的である。学校は、たてわり班活動を基になかまづくりを通して、自ら考えた事や思いを伝え、互いに共感できる子どもの育成をめざしている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>様々な感動体験を通して、児童一人一人に豊かな心や自己肯定感・自尊感情を育み、なかまとともに社会の変化にすすんで対応できる能力の育成</p>
<p>取組内容</p>	<p>環境美化・読書活動・ICT学習・福祉体験・体力作り等の様々な体験活動を通して、子どもたちに感動や喜びを味わわせ、豊かな心を養う。また小規模校の強みとして全校が一つになれる「なかよし班活動」を多く取り入れる。さらに、地域の方々やゲストティーチャーからの学びなどからキャリア学習の基盤を培い、児童の自己肯定感・自尊感情を育み、「人・もの・こと」とのふれあいや関係を大事にし、社会の変化に進んで対応できる能力を育成したい。</p>



▶左京小学校 運営委員会


<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>子どもたちは明るく純粋で、好奇心旺盛である。また、学習に対してもしっかり取り組むことができる。学校行事等にも積極的に、その際には大きな力を発揮する。他方、多様な価値観のもとで育ち、他者とともに生活する力に課題がある子どもが多い。学校ではこどもたちのコミュニケーション能力を高めることを重視し、規範意識さらに自尊感情の向上にも努めている。そういった意味において、地域の方々との交流の中で学び、身につく力は大きいと考えている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な事に興味・関心を持ち、積極的に取り組み学ぼうとする力。 • 自己を大切にするとともに、他者を敬いともに生きていこうとする力。 • 地域を愛し、環境を大切にするために行動していこうとする力。
<p>取組内容</p>	<p>地域の方々との体験活動、地域の方々から学ぶ活動、地域の方々を学校へ招く活動等を実施し、多くの人たちとの触れ合いを通して、相互の理解を深め、絆を強められるようにしていく。</p>



▶朱雀こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本園は奈良市の北部に位置し、園周辺は自然が豊富で、子どもたちは四季折々の自然を感じながら心豊かに育っている。地域の方の温かいまなざしにより、子どもたちは明るく素直であるが、こども園のため3歳児から5歳児の園児が多方面から通園しているため、園が終わってから戸外で遊ぶ機会が少なくなっている。遊びやいろいろな行事を通して身体を動かしたり、豊かな経験ができるように地域・保護者・教育機関とさらなる連携を図っていききたい。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>地域の教育力を積極的に活用し、感動体験の中で様々な人との触れ合い、自尊感情・自己肯定感や豊かな心を育てていききたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>地域の協力を得て、「体験学習」「コミュニケーション」「楽しさ」「つながり」などができる交流の場と機会を設け、園生活にいかせるようにしていきたい。</p>



▶左京こども園 運営委員会	
学校園・子どもの現状	園児は明るく朗らかで、何事にも興味・関心をもち、進んで様々な環境に関わろうとする姿が見られる。左京地区と佐保台地区が幼稚園を統合再編し、認定こども園として現在に至り、3歳児から5歳児の幼児が多方面（朱雀・青山・鼓阪・伏見）から通園している。地域・保護者の方々の幼児教育への関心は強く、大変協力的で、こども園としての機能の充実に対する期待も感じられる。今後も地域とのつながりを大切にしながら、より一層連携を深めていきたい。
伸ばしたい子どもの具体的な力	地域の様々な教育力を積極的に活用し、人と触れ合う楽しさや感謝の気持ちを持てるようにし、豊かな体験を通して、一人一人が自己充実していけるようにしていきたい。
取組内容	<p>地域の方やゲストティーチャーの方を招く事で、人との関わりを大切にしながら、つながりを深められるようにし、様々な体験に興味や関心を持つことができるようにする。</p> <div style="text-align: right;">  </div>